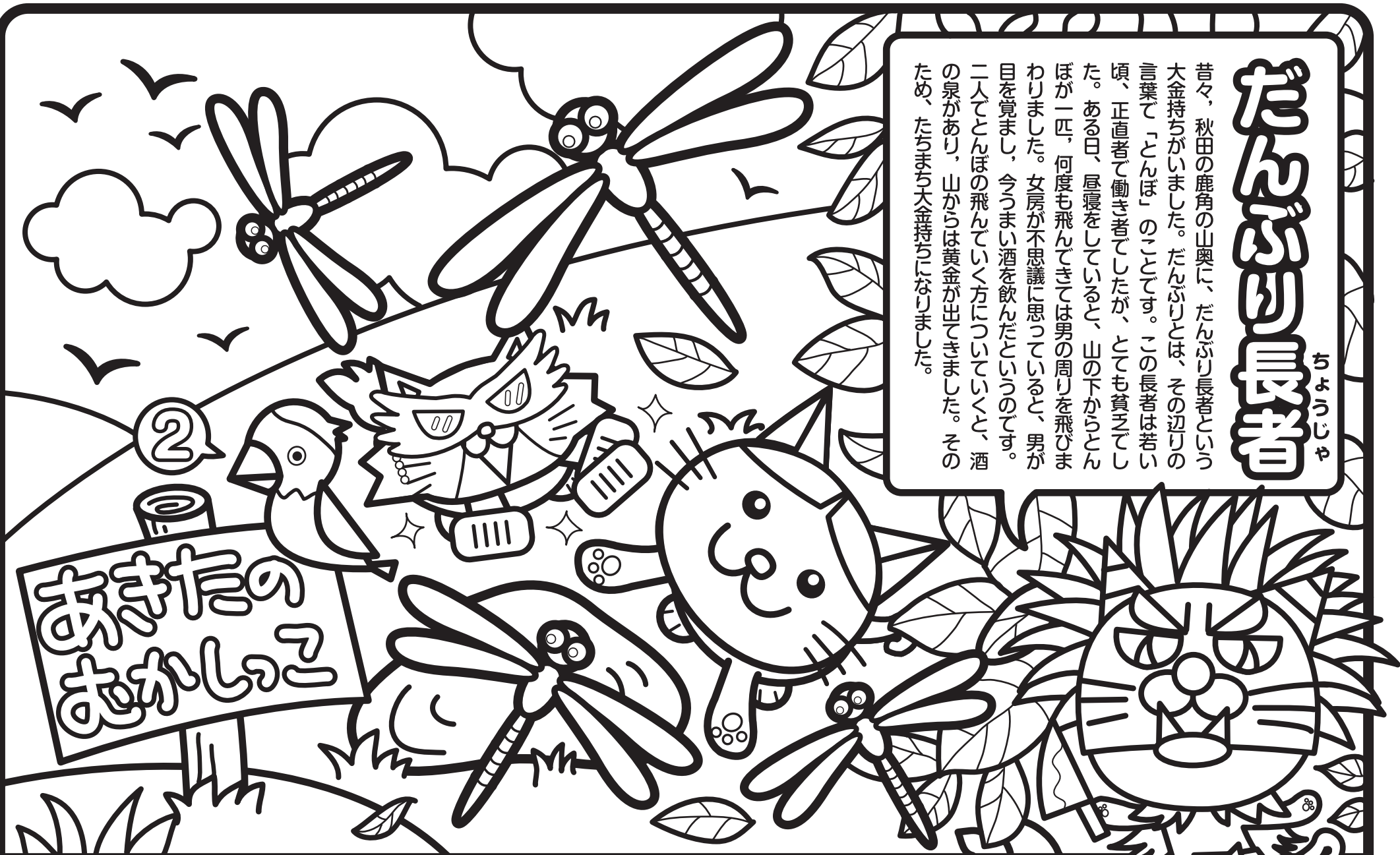


# だんぶり長者

ぢやまげ仮面

昔々、秋田の鹿角の山奥に、だんぶり長者という大金持ちがいました。だんぶりとは、その辺りの言葉で「とんぼ」のことです。この長者は若い頃、正直者で働き者でしたが、とても貧乏でした。ある日、昼寝をしていると、山の下からとんぼが一匹、何度も飛んできては男の周りを飛びまわりました。女房が不思議に思っていると、男が目を覚まし、今つまい酒を飲んだといつのです。二人でとんぼの飛んでいく方についていくと、酒の泉があり、山からは黄金が出てきました。そのため、たちまち大金持ちになりました。



なまえ  
名前

ねんれい  
(年齢)      さい  
歳



はたはた



にやまはげ仮面